

市内の魅力を見て歩いて再発見!

かわちながの
歩っとスポット
KAWACHINAGANO
HOT SPOT

4

滝畑ダム湖畔めぐり

300m近い標高に位置する滝畑ダム
暑い季節は森と湖が美しいダム湖畔まで
足を伸ばしてみませんか

DATA CHECK

コース距離 約9km
所要時間 約170分
消費カロリー 約380kcal
※消費カロリーは体重60kgの人を目安に計算しています。

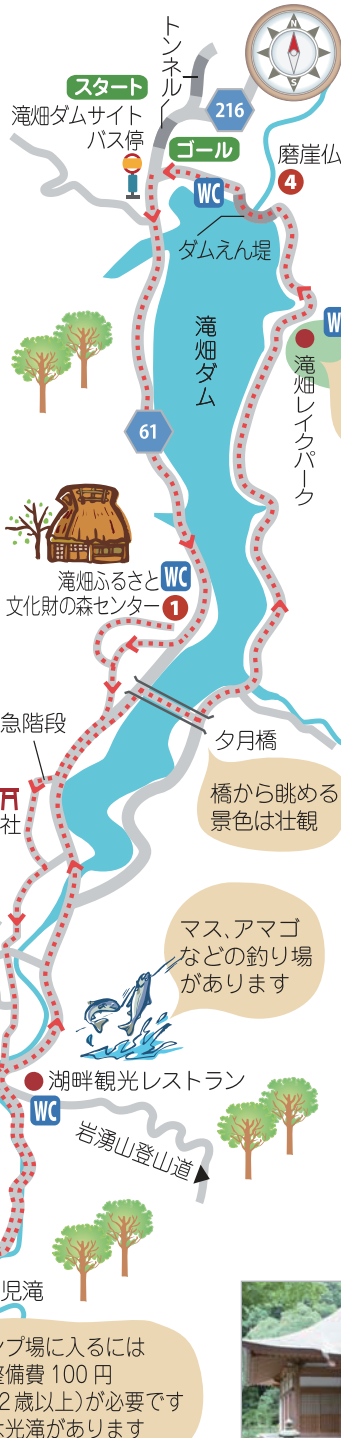
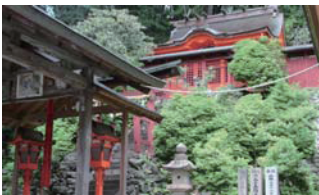
1 滝畑ふるさと文化財の森センター

同センターでは、文化財や文化財修復資材に対する理解を深めてもらうことを目的に、茅や檜皮などの修復資材と修復作業に使う道具を展示。ほかにもダム建設により、水没することとなった滝畑地区の民俗・美術工芸品、茅葺民家などもご覧いただけます。▷原則月曜日(祝休日の場合は翌日)と年末年始は休館(☎63-0201)



2 天神社

滝畑七ヶ村の氏神として古くから信仰を集めています。現在の社殿は、江戸時代前期の貞享4年(1687)に建立されたものですが、南北朝期である興国6年(1345)の棟札も残されており、当社の縁起が古くさかのぼることが知られています。



レイクパークの階段を上るとすばらしい眺めが広がります

4 磨崖仏

滝畑ダムのえん堤のすぐ北、地上約20mの岩肌に大きな地蔵・観音両菩薩像が刻まれています。この磨崖仏は、長野郵便局長を務めた故・夏目庄吉氏が6年余りかけて昭和6年に完成させたものです。



資料提供: 滝畑地区 個人(当時の様子を伝える貴重な写真=左は地藏菩薩、右は観音菩薩)

3 光滝寺

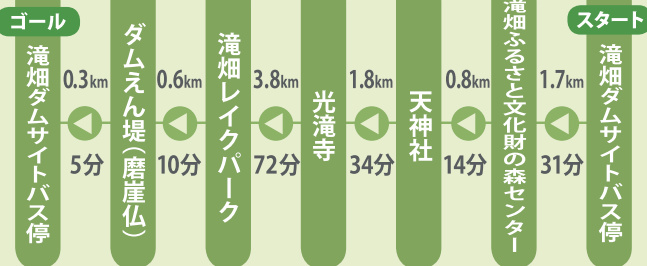
山号は福玉山(写真左は本堂)で、言い伝えによれば、飛鳥時代に欽明天皇の本願により、行満上人が開いたとされています。境内に建つ炭焼不動堂(写真右)は、炭焼きが盛んであった本地域の特色を現在に伝えています。



現在のダム(上)とダム建設前の様子(下)
資料提供: 滝畑地区 個人

滝畑ダム

大阪府が建設した石川流域の治水、灌漑用水・上水道の供給などを目的としたダムで昭和56年に完成。ダム湖を囲むように道路や遊歩道が整備され、雄大な眺めが楽しめる。



スタート地点から文化財の森センターへ。同センターの茅葺民家に入ると懐かしさを感じます。天神社を経て、光滝寺へ向かう溪流沿いの道は目にも涼しげ。途中、湖畔観光レストランやレイクパークでひと休みした後、ダムのえん堤から磨崖仏を見つけてみましょう。



注意 コースを歩く時は、熱中症を予防するため、水分をこまめに補給して、無理のないペースを心がけましょう。